

■「効果の見える治水事業」

愛媛県 浅川防潮水門 地震・高潮対策河川事業
『愛媛県今治市 地震から生命・財産を守る』



愛媛県東予地方局今治土木事務所長 栗原 明彦

■事業の概要

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、地震により堤防や水門・樋門などの河川構造物に大きな被害が発生しました。本県においても、南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、河川構造物の耐震対策は喫緊の課題であり、平成 23 年度から県が管理する主要な水門・樋門について、順次耐震化対策を実施しております。

今回事業を実施した浅川防潮水門は、今治市の市街地を流れる二級河川浅川の下流部に高潮による河川の水位上昇を防止する目的で設置されている施設です。周辺には今治北高校や今治第一病院など重要な保全施設が数多くあり、治水上重要な施設となっております。

本施設は 1985 年に完成しており、築造後約 30 年が経過していることから、現在の耐震基準に基づき耐震性の照査を実施したところ、将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動（レベル 2 地震動）に対して門柱の耐震性が確保されていないことが分かりました。

そのため、平成 24～25 年度に炭素繊維貼付工により耐震対策工事を実施し、背後地の安全性の向上を図ることができました。



【事業概要】

施工位置	愛媛県今治市別宮
事業期間	平成 24～25 年度
事業費	18,950 千円
工事内容	水門耐震対策工 (炭素繊維シート貼付工)

標準断面図

完成写真

